

MieMu

みえむ

三重県総合博物館
MieMu: Mie Prefectural Museum, Japan

Stegodon miensis

2021 Annual schedule



球状花崗岩(津市美杉町産)

第28回企画展

やっぱり石が好き！三重の岩石鉱物

4月24日(土)～8月29日(日)

当館には昭和28年に旧博物館が開館して以来、現在までに収集してきた多くの鉱物や岩石があります。旧丹生鉱山の辰砂や旧紀州鉱山の黄銅鉱などの鉱物や、球状花崗岩や三重県指定伝統工芸品の那智黒石などの岩石は、地球の長い歴史の中でできたものです。三重県で見つかった多種多様な鉱物や岩石をグループごとに紹介するとともに、人の暮らしに関わる石も展示します。魅力ある鉱物や岩石に語りかけてください。

【料金】※()内は団体料金
一般：800円(640円) 学生：480円(380円)
基本展示とのセット観覧券
一般セット券：1,050円(840円)
学生セット券：630円(500円)
こども無料(高校生以下)



無外逸方(北畠政勝)肖像
(県指定有形文化財)浄眼寺蔵

第29回企画展

寺院に伝わる戦国の残像 ～北畠氏のいた時代～

9月18日(土)～11月14日(日)

三重県内の寺院には、戦国時代の様子を伝える貴重な資料が多く遺されています。禅宗を深く信仰し出家して無外逸方と名乗った伊勢国北畠氏の当主政勝の肖像画をはじめ、天台真盛宗の宗祖真盛や真宗高田派の中興真慧の活躍を示す古文書、一揆や徳政令など村落の民衆がダイナミックに動いた様子を示す古文書、多くの寺院が開いた港湾都市安濃津や周辺地域に伝わる仏像などの仏教美術まで、北畠氏のいた時代に展開した、武将や仏教が織りなす世界をお楽しみいただけます。

【料金】※()内は団体料金
一般：800円(640円) 学生：480円(380円)
基本展示とのセット観覧券
一般セット券：1,050円(840円)
学生セット券：630円(500円)
こども無料(高校生以下)

◆トピック展 ※基本展示の観覧料でご覧いただけます。

昔の道具を考える

12月4日(土)～2022年2月13日(日)

明治時代から昭和・平成時代にかけての生活用具を紹介するとともに、新しい道具の出現が人々の暮らしにどのような変化をもたらしたか、私たちの暮らしはこれからどうあるべきか考えます。



米を炊く道具

集結！学芸員の一押し資料

2022年1月29日(土)～4月6日(水)

学芸員が日頃の調査・研究や資料収集で得られた情報や研究成果を展示ケース一人一台分で分かりやすく展示します。当館の学芸員全員が皆さまにぜひご覧いただきたい選りすぐりの逸品をお楽しみください。



津市産 昆虫類寄贈標本

◆移動展示 ※観覧無料



コキクガシラコウモリ

たんけん！はっけん！多気町

2022年2月11日(金・祝)～23日(水・祝)

場所：ふるさと交流館せいわ(勢和図書館・勢和郷土資料館)
(多気郡多気町朝柄 2889)
休館日：2月15日(火)、2月22日(火)

県内各地で、県民の皆さまに三重の多様な自然と歴史・文化やMieMuの楽しみ方を知っていただくため、移動展示を実施します。今回は、多気町で小学生と一緒に調査を行い、その成果を展示するとともに、多気町でその周辺の自然と歴史・文化をワークショップや講座を交えて紹介します。

◆三重の実物図鑑 特集展示 ※観覧無料

三重の実物図鑑では主に人文・自然分野の収蔵品を展示しています。人文分野は資料保存のため定期的に展示替えを行います。

伊賀焼と信楽焼

4月17日(土)～6月13日(日)

伊賀焼は、現在の伊賀市丸柱をはじめとする付近で焼かれた陶器です。安土桃山時代には茶の湯の流行とのかかわりで特色ある作品が生まれました。当館が収蔵する伊賀焼と信楽焼を展示します。



伊賀蹲壺

中世古文書の世界

10月30日(土)～11月28日(日)

当館では、鎌倉時代の執権北条義時や、室町幕府3代将軍の足利義満、江戸幕府を開いた徳川家康など、中世を代表する人物などが出した古文書を多数収蔵しています。その中から選りすぐりの文書を展示し、中世の古文書の世界を紹介いたします。



足利義満御内書

いにしへの津

6月19日(土)～7月18日(日)

三重県総合博物館が位置する津は、中世には湊を中心に栄え、近世には城下町としてにぎわいました。津に関係する館蔵の古文書や資料から、当時の様子的一端を紹介します。



岩田橋擬宝珠

2022年新春展示

三重のトラたち

12月18日(土)～2022年1月23日(日)

寅年にちなんで、当館の収蔵資料から「トラ」に関連した資料を展示します。トラの剥製標本のほか、トラの名前が付く生きもの、寅年の伊勢暦、虎がモチーフになった工芸品など、自然から歴史・文化まで幅広い分野の資料を展示します。



トラ剥製標本

戦争と三重－兵士と銃後－

7月24日(土)～8月29日(日)

第二次世界大戦下、戦場には多くの兵士が向かい、国にはその家族が残されました。そうした兵士や「銃後」と呼ばれた人々の様子やくらしがどのようにであったかを振り返ります。



鉄かぶと

ミニ館蔵品展－武器・武具－

2022年1月29日(土)～2月20日(日)

当館には、県内各地から寄贈や寄託された刀剣をはじめ、具足・鉄砲などの武器・武具が収蔵されています。今回は、ミニ館蔵品展として、それらの中からいくつかを紹介いたします。



短刀 銘 備州長船清光

三重の国体

9月18日(土)～10月17日(日)

開催が待ち遠しい三重とこわか国体・三重とこわか大会。前回三重県で国体が開催されたのは46年前の昭和50(1975)年でした。当時の様子を、三重県が保存する特定歴史公文書等で振り返ります。



第30回国民体育大会関係資料

三重県埋蔵文化財センター発掘調査速報展 土の中から『こんにちは!』

2022年2月26日(土)～4月24日(日)

近年、三重県内で行われた発掘調査の成果を、遺跡の出土品、写真、解説パネルを通していち早く紹介します。ふるさと三重の歴史解明につながる最新の調査成果に触れ、文化財のもつ本物の魅力を感じていただきたいと思います。



松坂城下町遺跡出土遺物

※上記期間以外も収蔵品の展示を行っています。

利用案内 ●開館時間

- 交流創造エリア 午前9時～午後5時(無料)
- 展示エリア 午前9時～午後5時(最終入場は、閉場30分前まで)
*開館時間を変更する場合があります。
- 休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12/29～1/3)、その他別途定める日
- 観覧料
基本展示 一般520円(410円)、学生310円(240円)、高校生以下無料 ※()内は団体料金
企画展示 展覧会ごとに別途料金を定めます。詳しくは各展覧会のお知らせをご覧ください。
年間パスポート 一般1,670円 学生1,040円
*学校の教育活動として県内の小・中・高・特別支援学校等の団体が観覧する場合、障害者手帳等をお持ちの方および付き添いの方1名の観覧は無料です。
*毎月第3日曜日は家庭の日で、正規観覧料の2割引でご覧いただけます。

交通案内 ●津駅まで

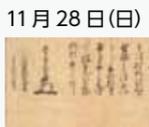
- 【鉄道】名古屋から近鉄またはJRで約1時間、大阪から近鉄で約1時間30分
津駅(近鉄名古屋線、JR紀勢本線、伊勢鉄道) 西口下車
- 津駅(西口)から
【バス】三重交通バス 総合文化センター行きまたは夢が丘団地行き約5分(「総合文化センター前」下車すぐ)
【徒歩】約25分
- 【徒歩】約25分
- 【自動車/観光バス】伊勢自動車道「津IC」から約10分/伊勢自動車道「芸濃IC」から約20分
駐車場約1,400台 *総合文化センターと共用。思いやり駐車場あり。



MieMu | みえむ | 三重県総合博物館
MieMu: Mie Prefectural Museum, Japan

三重県津市一身田上津部田3060 〒514-0061
3060 Isshinden-kouzubeta Tsu, Mie 514-0061, Japan
tel 059-228-2283 fax 059-229-8310 mail MieMu@pref.mie.lg.jp
HP https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/MieMu/
twitter @mie_pref_museum
facebook https://www.facebook.com/mie.pref.museum

●…当日受付 ■…事前申込 「講座など」「フィールドワーク」は下記のご案内をご覧ください。

	企画展示室(3F)・移動展示	三重の実物図鑑(3F)	講座など	フィールドワーク
2021 4	第28回企画展 やっぱり石が好き! 三重の岩石鉱物 4月24日(土)～8月29日(日) ●4/29(木・祝) ギャラリートーク ● ●5/4(火・祝) 水晶さがし ● ●5(水・祝) 那智黒石ペンダントづくり ● ●16(日) 講演会 「三重県で見つかった世界新産鉱物」 ● ●30(日) ギャラリートーク ●	伊賀焼と信楽焼 4月17日(土)～ 6月13日(日)  伊賀焼壺	●18(日) MieMu の日 ● // わくわくワークショップ  ●1(土) わくわくワークショップ ●2(日) おとなの理科教室 「貝体新書」 ● // 楽しい理科教室 「三葉虫を調べよう」 ●8(土) 学芸員フリートーク 「コウモリって どんな生きもの?」	●3(月・祝) 学芸員と歩こう! 観察の林 ●23(日) 紀和町板屋川の鉱物観察会
5	●6/19(土) ギャラリートーク ● ●27(日) 講演会 「地質から探る三重の大地の歴史」 ～「火山の岩石」は何を語るか?～ ●	いにしへの津 6月19日(土)～ 7月18日(日)  藤堂高次書状	●12(土) 基本展示スポットガイド 「鈴鹿山脈の自然」 ●20(日) わくわくワークショップ	●3(木) MieMu・そうぶんの 岩石・石材観察会
6	●7/17(土) ギャラリートーク ● ●18(日) 「石」なんでも相談会 ●	戦争と三重 —兵士と銃後— 7月24日(土)～ 8月29日(日)  大日本国防婦人会たすき	●10(土) 学芸員フリートーク 「三重県の祭り・行事」 ●18(日) わくわくワークショップ	●4(日) 室生火砕流堆積物の見学会 ●10(土) MieMu・そうぶんの 岩石・石材観察会
7	●8/7(土) ギャラリートーク ● ●14(土) 水晶さがし ● ●15(日) 那智黒石ペンダントづくり ● ●21(土) 作って見よう偏光の世界 ●	三重の国体 9月18日(土)～ 10月17日(日)  第30回国民体育大会関係資料	●14(土) 基本展示スポットガイド 「東紀州の山村」 ●15(日) おとなの理科教室 「貝体新書」 ● // 楽しい理科教室 「三葉虫を調べよう」 ●22(日) 標本の名前を調べてみよう (令和3年度同定会)	
8	第29回企画展 「寺院に伝わる戦国の残像 ～北畠氏のいた時代～」 9月18日(土)～11月14日(日) ●9/19(日) 講演会・ギャラリートーク ● ●10/3(日) 講演会 ギャラリートーク ● ●17(日) 講演会 ギャラリートーク ● ●30(土) 講演会 ギャラリートーク ●	中世古文書の世界 10月30日(土)～ 11月28日(日)  徳川家康書状	●11(土) 学芸員フリートーク 「はく製はこわい? —触れる資料づくりの 取組みから—」 ●18(土) 岐阜県博物館交流企画 講演会 「豊臣政権下の稲葉家の動向」 ●19(日) わくわくワークショップ	●2(土) 身近なけもの —アブラコウモリ観察会— ●10(日) 文化財探訪「津市内を歩く」 ●31(日) 学芸員と歩こう! 観察の林
9	●11/6(土) 講演会・ギャラリートーク ● ●14(日) 講演会・ギャラリートーク ●	トピック展 昔の道具を考える 12月4日(土)～ 2月13日(日)  洗濯道具の変遷	●9(土) 基本展示スポットガイド 「伊勢湾」 ●17(日) わくわくワークショップ	●4(土) 身近な冬鳥を観察しよう
10	●1/10(月・祝) ミニ講演会&道具の使い方紹介 ●	2022年新春展示 三重のトラたち 12月18日(土)～ 1月23日(日)  虎仙人図	●13(土) 学芸員フリートーク 「古文書学ことはじめ」 ●21(日) わくわくワークショップ	●4(土) 身近な冬鳥を観察しよう
11	●2/11(金・祝) ミニ講演会& 道具の使い方紹介 ● ●13(日) 透明せっけんをつくって コロナをやっつけよう ●	ミニ館蔵品展 —武器・武具— 1月29日(土)～ 2月20日(日)  腰刀形たん筒	●11(土) 基本展示スポットガイド 「熊野灘と東紀州」 ●12(日) 正月かざりをつくろう ●19(日) わくわくワークショップ	●5(土) 身近な冬鳥を観察しよう
12	トピック展 集結! 学芸員の 一押し資料 1月29日(土)～ 4月6日(水)  津市産蛾類寄贈標本 (ヒメヤママユ)	三重県埋蔵文化財センター発掘調査速報展 土の中から 『こんにちは!』 2月26日(土)～ 4月24日(日)  小牧南遺跡(第2次)四日市市	●8(土) 学芸員フリートーク 「『伊賀惣国一揆書』を読む」 ●16(日) おとなの理科教室 「貝体新書」 ● // 楽しい理科教室 「三葉虫を調べよう」 ●12(土) 基本展示スポットガイド 「伊賀盆地の農村」	
2022 1	移動展示 たんけん! はっけん! 多気町 2月11日(金・祝)～ 23日(水・祝) 場所:ふるさと交流館せいわ (勢和図書館・勢和郷土資料館) 休館日:2月15日(火)、2月22日(火)  多気町のお雑煮の一例		●20(日) わくわくワークショップ	
2				
3				

※このほかにも、企画展開連イベント等を開催する予定です。
また、企業や団体から協賛をいただき、基本展示観覧料が無料となり、各種イベントが盛りだくさんの「コーポレーション・デー」も開催します(不定期)。
開催日時等、最新の情報は、当館ホームページやSNSでご案内します。

さまざまな活動のご案内

●…当日受付 ■…事前申込

講座など

- **基本展示スポットガイド** ● (4月のぞく偶数月)
数ある展示コーナーの中から、学芸員のおすすめ展示を解説します。
6/12: 鈴鹿山脈の自然 | 12/11: 熊野灘と東紀州
8/14: 東紀州の山村 | 2/12: 伊賀盆地の農村
10/9: 伊勢湾
日程: 第2土曜日 14時～
※参加は無料ですが、基本展示室の観覧券が必要になります。
- **わくわくワークショップ** ●
どなたでも参加できるワークショップを行います。
日程: 4/18,5/16,6/20,7/18,9/19,10/17,11/21,
12/19,3/20 13時30分～14時30分
- **学芸員フリートーク** ● (3月のぞく奇数月)
学芸員が知っているあんなこと、こんなこと。
いろいろなお話をします。
5/8: コウモリってどんな生きもの?
7/10: 三重県の祭り・行事
9/11: はく製はこわい?
—触れる資料づくりの取組みから—
11/13: 古文書学ことはじめ
1/8: 『伊賀惣国一揆書』を読む
日程: 第2土曜日
13時30分～14時30分 定員: 80名 対象: 小学生以上
- **おとなの理科教室「貝体新書」** ●
ハマグリなどの貝殻を使って、頭の体操をします。
日程: 5/28/15,1/16
10時～12時 定員: 30名 対象: 一般

- **楽しい理科教室「三葉虫を調べよう」** ●
三葉虫の秘密を楽しく解き明かしていきます。
日程: 5/28/15,1/16
13時30分～15時 定員: 30名 対象: 小学生以上
- **標本の名前を調べてみよう** ● (令和3年度同定会)
標本を持ち寄って専門家とともに、標本の名前を調べます。
日程: 8/22 10時～15時 対象: 小学生以上
- **正月かざりをつくろう** ●
日程: 12/12 定員: 10名 対象: 小学4年生以上
※別途材料費必要。

フィールドワーク

- **学芸員と歩こう! 観察の林** ● (現地集合)
日程: 5/3,10/31 定員: 10名 対象: どなたでも
- **紀和町板屋川の鉱物観察会** ● (現地集合)
日程: 5/23 定員: 20名 対象: 小学生以上
- **MieMu・そうぶんの岩石・石材観察会** ● (現地集合)
日程: 6/3,7/10 定員: 20名 対象: どなたでも
- **室生火砕流堆積物の見学会** ● (現地集合)
日程: 7/4 定員: 20名 対象: 小学生以上
- **身近なけもの—アブラコウモリ観察会—** ● (現地集合)
日程: 10/2 定員: 20名 対象: どなたでも
- **文化財探訪「津市内を歩く」** ● (現地集合)
日程: 10/10 定員: 20名 対象: 中学生以上
- **身近な冬鳥を観察しよう** ● (現地集合)
日程: 12/4,3/5 定員: 30名 対象: どなたでも
※フィールドワークへの小学生の参加は保護者同伴

[定員・申込み方法について]

当日受付: 開始時間までに所定の場所へお集まりください。定員に達し次第、締切りといたします。
事前申込: 開催日の2か月前から3週間前(必着)の期間に往復はがきまたは電子申請でお申込みください。
※電子申請は、当館ホームページのイベント案内よりお申込みください。
<https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/MieMu/84927046739.htm>
なお、右記のQRコードからもアクセスできます。
○1つの行事につき1通の申込みが必要です。代表者の氏名、年齢、住所、当日連絡が取れる電話番号および参加者全員の氏名、年齢をご記入ください。
○応募者多数の場合、抽選となります。なお、電子申請の場合、申込み後に届く到達確認メールは、当選の通知ではありませんのでご注意ください。
○1件あたりのお申込み人数は4名までとし、これを抽選単位とします。(「正月かざり」は2名まで)
○各イベントは、悪天候などにより中止することがあります。当日参加のイベント実施の可否についてはホームページをご覧いただくか、MieMuへお問い合わせください。
○申込みが定員に満たない場合、募集期間終了後、追加募集を行う場合があります。実施の場合はホームページでご案内します。またはMieMuへお問い合わせください。

[お問い合わせ] 三重県総合博物館(MieMu)
三重県津市一身田上津部田 3060 〒514-0061
TEL 059-228-2283 mail MieMu@pref.mie.lg.jp
HP <https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/MieMu/>

【岐阜県博物館交流企画】

岐阜県博物館とMieMuとの連携企画として、岐阜県博物館の学芸員による講演会を実施します。

講演会 事前申込 定員: 80名

9/18(土) 13時30分～15時 「豊臣政権下の稲葉家の動向」

講師: 安藤 均 (岐阜県博物館 人文系学芸員)

※MieMuからも学芸員が岐阜県博物館に出かけて講演会を行います。参加方法は岐阜県博物館にお問い合わせください。

講演会 ● 10/23(土) 13時30分～15時 先着順 定員: 65名
「三重県を東西に走る中央構造線の活動史」 (津村善博学芸員)